

1. 空き家件数

現地調査件数	201 件	所有者住所	
空き家候補	151 件		
所有者が特定できず空き家と判断した件数 (a)	10 件	町内	町外
アンケート実施件数	141 件	49	92
アンケート結果により空き家と判断した件数 (b)=(c)+(d)	134 件	45	89
アンケート回答	85 件	29	56
空き家と回答 (c)	78 件	25	53
空き家ではない	7 件	4	3
アンケート未回答 (d)	56 件	20	36
空き家件数 (a)+(b)	144 件		

※町内会長への空き家調査、町民からの通報、職員のパトロール、水道の閉栓情報から、現地調査家屋を決め、調査を実施した。現地調査結果により、空き家候補の選定、所有者の調査、アンケートの実施を行い、空き家を特定した。

※空き家候補151件の内、所有者が特定できない10件を除く、141件にアンケートを実施

※現地調査により、空き家候補になった家屋でアンケート未回答及び所有者が特定できないものは、空き家と判定した。

2. 空き家現地調査危険度判定結果

空き家件数	144 件	割合
A 小規模の修繕等により再利用が可能	3 件	2%
B 管理が行き届いておらず損傷もみられるが当面の危険性はない。	86 件	60%
C 今すぐ倒壊や建設材の飛散等の危険性はないが、管理が行き届いておらず、損傷が著しい。	39 件	27%
D 倒壊や建設材の飛散など危険が切迫しており、緊急度が極めて高い	16 件	11%

3. 地区(大字)別空き家数

空き家件数					144 件	
	A	B	C	D	計	割合
湯沢	1	24	13	2	40 件	28%
神立	2	18	3	3	26 件	18%
土樽		25	9	5	39 件	27%
三俣		9	7	3	19 件	13%
三国		10	7	3	20 件	14%
計	3	86	39	16	144 件	

※湯沢、土樽地区は、家屋数が多いため、空き家数も多いと考えられる。

※三国、三俣地区は、家屋数に対し空き家数が多い傾向にある。

4. アンケート結果

アンケート実施件数											141件		
アンケート回答数											85件		
空き家ではない											7件		
空き家と回答											78件		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	未回答	計	割合
	現在の利用形態	現在と同じ（問1と同様の）利用方法を継続したい	自己利用（居住用、別荘など）したい	親や子ども等、親族の利用に供したい	売却先（購入者）を募集したい	賃貸の入居者を募集したい	売却と賃貸の両方で募集したい	自治体等と連携して地域住民・コミュニティの活用に使いたい	取り壊し（更地化）したい	その他			
	五年後までの活用意向												
①	週末や特定の季節・目的などで使用する別荘などの二次的住宅	10	2	3	1		1	1		1		19件	24%
②	仕事が遅くなった時などに使う二次的住宅	1										1件	1%
③	賃貸用の空き家					2			2			4件	5%
④	売却用の空き家				8		1			1		10件	13%
⑤	長期不在などの空き家	5	1	1	1			2	1			11件	14%
⑥	特に利用目的が無いための空き家	2	1		2	1	2	1	6			15件	19%
⑦	その他	1	1		2			1	2	2		9件	12%
⑧	上記の利用形態に一致せず、空き家ではない	2		1						2	2	7件	9%
	未回答				1						1	2件	3%
	計	21	5	5	15	3	4	5	11	6	3		
	割合	27%	6%	6%	19%	4%	5%	6%	14%	8%	4%		

4-2. アンケート結果

アンケート実施件数	141件	
アンケート回答数	85件	
空き家ではない	7件	
空き家と回答	78件	
空き家活用のための必要な制度（複数回答）		割合
①	リフォームに関する支援	14件 18%
②	有効活用に関する情報の提供	20件 26%
③	公的な機関による借り上げ制度	27件 35%
④	宅建業者との連携	15件 19%
⑤	PR体制の整備（物件情報）	11件 14%
⑥	取り壊し（更地化）のための支援	28件 36%
⑦	その他	2件 3%
⑧	有効利用は考えていない	14件 18%
空き家バンク等の利用意向		割合
①	制度・サービスができてから利用するかどうかを考えたい	20件 26%
②	利用したい	23件 29%
③	利用しない	12件 15%
④	よくわからない	17件 22%
	未回答	6件 8%